3・1ビキニデー集会プログラム

アメリカフレンズ奉仕委員会
ジョゼフ・ガーソン氏

静岡県原水爆被害者の会
会長　川本司郎氏

女性コーラス「カンティアーモ常葉」の紹介

常葉大学音楽科卒業生が中心で、焼津在住者も複数います。「カンティアーモ」はイタリア語で「みんなで一緒に歌いましょう」という意味。県芸術祭では「芸術祭賞」、アンサンブルコンテストでは「金賞」を受賞。その実力を保持しつつ、仕事と家事の両立を図りながら、親しみやすい曲を中心に学校や福祉施設、公式行事などで演奏活動を行っています。昨年6月には静岡県母親大会で歌いました。

第1部　13：00～13：40

◆オープニング　うたごえ協議会
◆主催者あいさつ
　静岡県原水爆被害者の会会長　川本司郎氏
◆来賓あいさつ
　焼津市長　中野弘道氏　他
◆メッセージ紹介
◆主催者報告
　原水爆禁止世界大会実行委員会

第2部　13：50～15：30

◆文化企画
　女性コーラス平和の歌（カンティアーモ常葉）
◆ビキニ被災事件を語る
　マーシャル諸島・エニウェトク環礁からの代表、第5福竜丸乗組員など
◆特別企画
　トランプ大統領の選出でどうなるアメリカ
　ジョゼフ・ガーソンが語るアメリカの現状と未来
◆ビキニ被災の調査・究明のとりくみ報告
　高知県からの発言
◆「ヒバクシャ国際署名」のとりくみ報告
　静岡・藤枝のとりくみと全国の経験、被爆者からの訴え
◆「平和行進、世界大会にむけて」リレートーク
◆集会アピールの採択

「被災63年2017年3・1ビキニデー集会のよびかけ」より

2016年の第71回国連総会では「核兵器禁止条約の2017年3月からの交渉開始」が決議され、核兵器廃絶への新しい歴史的一歩が踏み出されました。追い詰められた核保有国は、従来からの「核抑止力」論に基づく主張でこれらの決議に抵抗し、対立はいっそう深まっています。唯一の被爆国である日本政府はこの決議に反対、世界の国々を失望させました。こうした日本政府の姿勢に、被爆地広島、長崎の被爆者から怒りの声が上がっています。また、核兵器廃絶を願う「ヒバクシャ国際署名」のとりくみも始まり、平和首長会議もこれに賛同、自治体ぐるみのとりくみも期待されます。

被災63年2017年3・1ビキニデー集会は、人類の目標となった「核兵器のない世界」を実現する、日本とアジア・太平洋、世界の人々との共同を発展させる重要な機会です。また、ビキニ事件の実相をひろげ、原水爆禁止運動の教訓を学び、「核兵器のない世界」をめざす平和行進、原水爆禁止世界大会に向かう運動の出発点です。「核兵器禁止条約の2017年3月からの交渉開始」直前のとりくみとして、核兵器禁止を共通の目標に、行動するすべてのみなさんに国際的連帯、国民的共同の場として、とりわけ希望ある未来を求める若い世代のみなさんとの連帯の場、核兵器禁止条約実現の歴史的チャンス、被災63年2017年3・1ビキニデー集会への賛同と参加をよびかけます。

2017年1月

原水爆禁止世界大会実行委員会
被災63年2017年3・1ビキニデー静岡県実行委員会

関連企画のご案内

◆3・1ビキニデー日本原水協全国集会　主催　原水爆禁止日本協議会

― 国際交流会議 ―	― 全体集会 ―
2月27日（月）14：30～17：30 グランシップ（JR東静岡駅南口より徒歩3分）	2月28日（火）13：00～15：00 グランシップ・中ホール
東富士基地ウォッチング〈オプション企画〉 2月28日（火）集合8：15JR静岡駅南口～解散12：15グランシップ前（事前予約制）	― 分科会 ― 2月28日（火）15：30～18：30 グランシップ内会議室

◆3・1ビキニデー宗教者平和運動交流集会

主催　日本宗教者平和協議会

2月28日（火）
14：00～17：00
サンライフ焼津（予定）